



7本ツインスポークは開口部が広く、放熱性に優れる。また、マルチスポークの応力分散特性も併せ持つ。センターキャップはオプション

CUSCO ZN8 GR86
18×9.0J inset 45
POTENZA RE-71RS 235/40R18

CLOSE-UP WHEEL

WORK EMOTION ZR7

7本ツインスポークがもたらす
剛性と軽さの高次元融合



CLOSE-UP CUSCO ITEMS

ZN8 GR86/ZD8 BRZ用
ブレーキ冷却導風板とエアインテークダクト

ここでもクーリング特集にちなんでCUSCOの冷却パーツを紹介。純正ロアアームにボルトオン装着のブレーキ冷却導風板は税込み5万7200円。すでに人気のアイテムだ。純正エアクリナーボックスにボルトオン装着（フロントバンパーは脱着の必要あり）のエアインテークダクトは税込み3万8500円。ダクトの断面積を稼ぎ、ストレート形状と相まって、吸気抵抗を低減。いずれも、ZN8 GR86/ZD8 BRZ、ZN6 86/ZC6 BRZに適合

定評ありの鍛造スポーク
17/18/19インチを用意

ワークのスポーツホイールブランド「エモーション」の主力モデル。17/18/19インチのサイズラインアップで、17インチにはGR86/BRZカップ指定部品の7.5Jインセット44 PCD100の5ホールも存在する。コンパティビリティにも適する素性の持ち主というわけだ。

細身の7本ツインスポークは剛性と軽さの両得に寄与。マルチスポークならではの応力分散にも優れている。開口部も広く、放熱性のよさも得られている。全サイズ、ワークフローフォーミング製法が採用され、鍛造に迫るメタルフローを実現。引張り強度や粘り強さを飛躍的に高めている。ワークのホイールはタフなことで知られるが、このZR7もハードな走行を前提につくられている。

グロウデザインのエアロパーツを纏ったクスコのGR86にはマツトブラックの18×9.0Jインセット45を装着。ちなみに、標準カラーにはグロウガンメタ、チャニウムホワイトもある。

組み合わせられるRE-71RSは235幅なので、少しだけ引張り気味となる。クスコ・ストリートゼロAやアーム、ロッド類により、ツライチ付近でカッチリ収まる。車高は約20mmダウンだ。